


テーマ	No. 12	樹木のかんさつ		
	樹木マップづくりや樹木の観察をしよう。			
ねらい	学校や公園などの樹木の観察をきっかけとして、身近なみどりと地域の景観や環境との関係に気づき、みどりを守り育てるために自分たちでできることを考えるきっかけを作ります。			
対象者	小学校3年生～中学校3年生	人数	40人程度まで	
実施場所	校庭、公園等	時間	1～2時限	
学校の準備物	なし			
アピールポイント	このプログラムは、複数のアクティビティから構成されていますので、皆様のフィールドに合わせてアレンジを加えるなど、自由な組み合わせが可能です。			
関連するSDGs				

プログラムの進め方

●気づき－樹木のかんさつ

身近な樹木を観察することで、地域のみどりに関心を持ち、その特徴や個々の違いについて気づきます。

(アクティビティ)

- ①樹木の特徴をスケッチ
- ②新芽の成長を観察
- ③四季を通じて樹木の変化を観察

●探求－身近なみどり

学校や公園などに植栽されている植物の種類や配置、量などを調べることで、地域のみどりの状況に気づき、地域にあるみどりの意味や目的などを考えます。

(アクティビティ)

- ①樹木のマップを作る
- ②樹木の高さや太さを測る

●行動－みどりと環境

地域の景観や環境を彩るみどりを守り、育てるために、自分たちでできることを考えます。

(アクティビティ)

- ①私たちのみどりのために自分たちでできることを考える

